

太平中

学校だより

令和6年11月6日
第478号
(令和6年度 第7号)

札幌市立太平中学校
北区太平8条2丁目
TEL 772-7961
FAX 772-5937

想像力を広げよう！
～想像力のある人になろう 想像力あふれる学校にしよう～

<https://www.taihei-j.sapporo-c.ed.jp/>



文部科学省

「全国学力・学習状況調査」の結果について

日頃より、本校の教育活動に対しまして御理解と御協力を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、4月12日（金）と4月18日（木）に実施した全国学力・学習状況調査の結果について報告いたします。

調査の目的

- ① 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ② 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

調査結果は学校における継続的な改善サイクルに生かされています。

今年度の調査結果はすでに文部科学省より公表されており、本校生徒にも個人票として一人一人に通知されております。その結果をもとに、本校におきましても、生徒の学習状況や調査結果を分析し課題や改善方法についてまとめましたので、その内容をお知らせいたします。

なお、学校間の序列化や過度の競争を避ける意味から、札幌市では学力に関する具体的な数値結果は公表しておりません。学習状況調査につきましても、全国や北海道と比較した数値の公表は行いませんのでご了解ください。

本調査に関わるお問い合わせにつきましては、太平中学校教頭、または教務担当（田畑）まで御連絡ください。今後とも本校教育への御支援、御協力をよろしくお願いいたします。

（太平中学校 TEL 772 - 7961）

【国語】

本校の概要

【領域】

□「言葉の特徴や使い方に関する事項」

- ・全国平均を下回っている。

□「情報の扱い方に関する事項」

- ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。

□「我が国の言語文化に関する事項」

- ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。

□「話すこと・聞くこと」

- ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。

□「書くこと」

- ・全国平均を下回っている。

□「読むこと」

- ・全国平均を下回っている。

今回の調査における課題

●文の成分の順序や照応について理解すること。

●情報と情報との関係について、意見と根拠の関係を理解すること。

●行書の特徴を理解すること。

●必要に応じて質問しながら話の内容を捉えること。

●表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること。

●文章と図とを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈すること。

改善の方向

○文の成分の順序や照応などの文の構成について理解したことを、文書に書いたり、書いた文書を推敲したりする場面で活用できるようにすることを大切にする。

○原因と結果、意見と根拠、具体と抽象などの基本的な情報と情報との関係について理解し、実際の話や文章の内容を理解したり精査したりする際に、その関係を捉えることができるようにすることを大切にする。

○楷書の学習を踏まえ、行書の特徴を理解して書くことを大切にする。

○話題や展開を捉えながら話し合い、発言を結び付けて考えをまとめる指導の充実。

○自分の考えが伝わる文章になるように、効果を考えて描写を工夫して書く指導の充実。

○目的に応じて必要な情報に着目して要約する指導の充実。

【数 学】

本校の概要

【領域】

□「数と式」

・全国平均を下回っている。

□「図形」

・全国平均と同程度であるが、やや下回っている。

□「関数」

・全国平均を下回っている。

□「データの活用」

・全国平均と同程度であるが、やや下回っている。

今回の調査における課題

●連続する二つの偶数を、文字を用いた式で表すこと。

●等式を目的に応じて変形すること。

●回転移動について理解すること。

●筋道を立てて考え、証明すること。

●一次関数について、式とグラフの特徴を関連付けて理解すること。

●事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明すること。

●複数の集団のデータの分布の傾向を比較して読み取り、判断の理由を数学的な表現を用いて説明すること。

改善の方向

○数量及び数量の関係を文字を用いた式で表す活動の重視。

○事柄が成り立つ理由を構想を立てて説明する活動の充実。

○図形の移動の性質を見いだす活動の重視。

○証明の方針を立て、それに基づいて仮定から結論を導く推論の過程を数学的に表現できるように指導することが大切。

○一次関数について、式とグラフの特徴を関連付ける活動の重視。

○事象の数学的な解釈に基づいて、問題解決の方法を数学的に説明する活動の充実。

○データの分布の傾向を比較して読み取り、判断の理由を説明する活動の重視。

質問紙の解答に見られる太平中生徒(3年生)の特徴

I. 全国と比べて、肯定的な回答が多いもの

質 問 内 容	
12	人が困っているときは、進んで助けていますか
28 ②	1、2年生のときの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。(2)分からないことがあった時に、すぐ調べることができる
28 ⑤	1、2年生のときの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。(5)自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができる
28 ⑦	1、2年生のときの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。(7)友達と協力しながら学習を進めることができる
42	国語の勉強は好きですか
44	国語の授業の内容はよく分かりますか
64	1、2年生のときに受けた授業では、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていたと思いますか

II. 全国と比べて、肯定的な回答の少ないもの

質 問 内 容	
32	1、2年生のときに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか
34	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか
35	授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思いますか
36	先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか
38	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか
50	数学の勉強は好きですか
52	数学の授業の内容はよく分かりますか
54	数学の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか
63	1、2年生のときに受けた授業では、原稿などの準備をすることなく、(即興で)自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う活動が行われていたと思いますか

III. 太平中生徒の特徴から

今回の調査は3年生の4月段階のもので、現在の太平中すべての生徒に当てはまるものではないかもしれませんが、太平地区の子どもたちの共通の傾向として捉えることもできると考えられます。

I. 「肯定的な回答が多いもの」の28②・⑤・⑦からは、ICTの活用が有効な場面では、ICTの利用が学習意欲を引き出す等、学習の効率を上げると考えられます。42,44からは教科の授業の必要性を感じていることが分かります。

II. 「肯定的な回答が少ないもの」の32・34・35・36・38・50・52・54とIの42・44から、教科の授業の必要性について感じてはいるが、学習意欲がわからない生徒が多いことがわかります。引き続き、総合的な学習の時間をふくめ、各教科の授業内容についての見直しや工夫・改善を図っていく必要があると考えています。

その他、使用頻度を選択する質問事項から、携帯電話やスマートフォンを使って動画視聴したり、ゲームをしたりする時間が、全国と比べて割合が高いことがわかりました。携帯電話やスマートフォンの有効で安全な使用方法について、引き続き、ご家庭とも連携しながら考えていく必要があると感じています。

今後、これらの情報を生かし、御家庭や地域の皆様に御協力や御支援をいただき、生徒たちが充実した学校生活と感じられるように質の向上を図っていきたいと思います。皆様の御協力をお願いいたします。